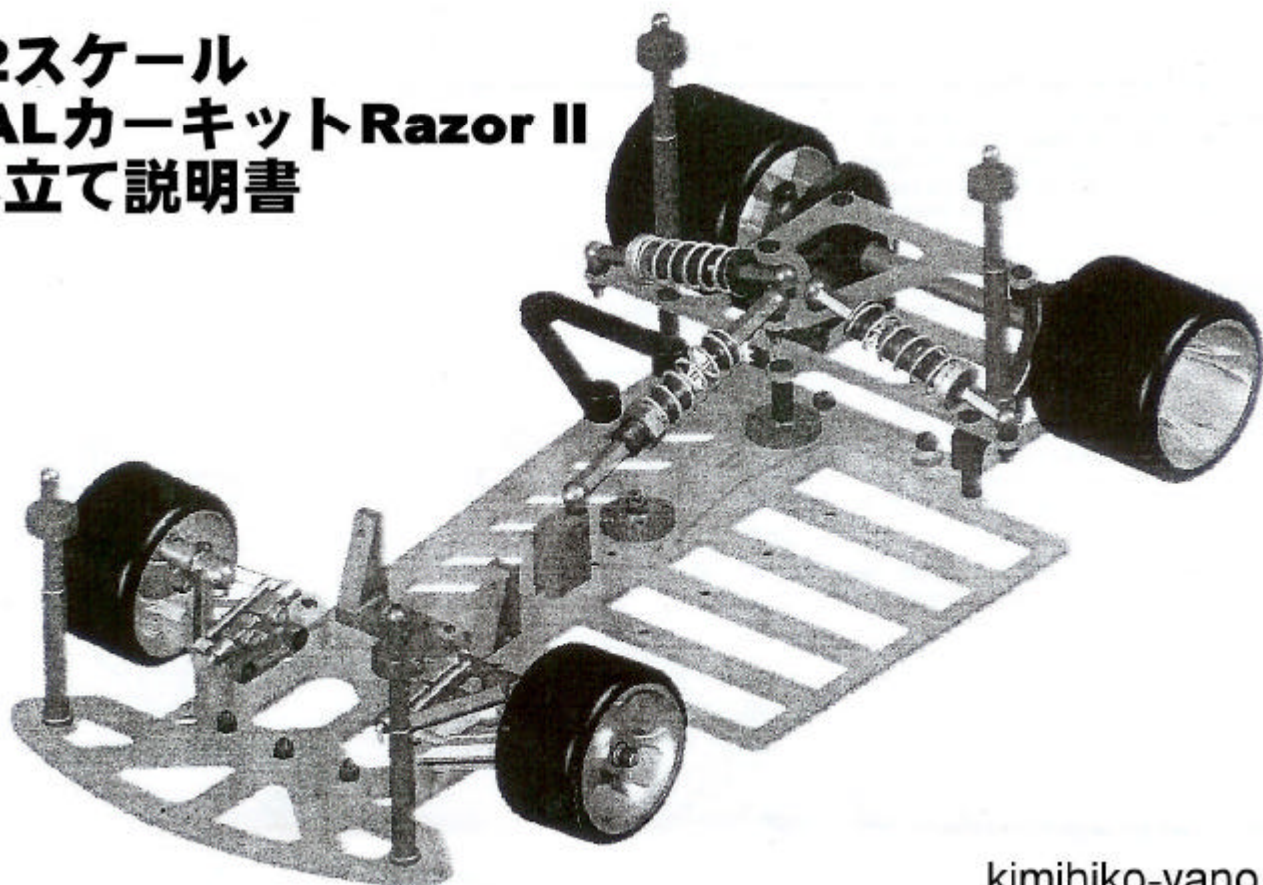


# CALANDRA RACING CONCEPTS

## 1/12スケール OVALカーキットRazor II 組み立て説明書



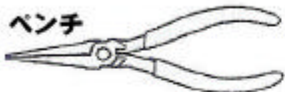
kimihiko-yano.net

### Tools

ドライバー

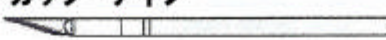


ペンチ



ハンダこて

カッターナイフ



.035, .050, 1/16, 3/32, 2.5 mm



キットに含まれる工具

いくつかの簡易工具はキットに含まれています。快適に作業を進めるには柄の大きなレンチなどを使うようにしましょう。六角ナット用の工具は含まれません。別途準備してください。この他キットの完成には次のアイテムが必要です。

【キット完成に必要な別売り品】

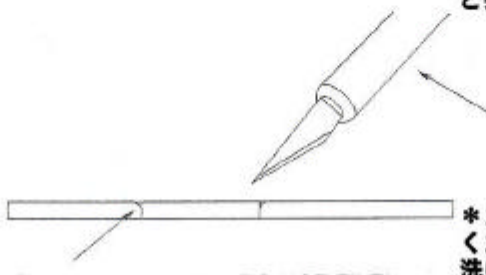
- サーボテープ（両面テープ）
- ネジ止め剤
- プライヤー
- ESC、受信機、モーター
- バッテリー
- ビニオンギア
- ボディ
- タイヤ・ホイール

### Chassis Prep



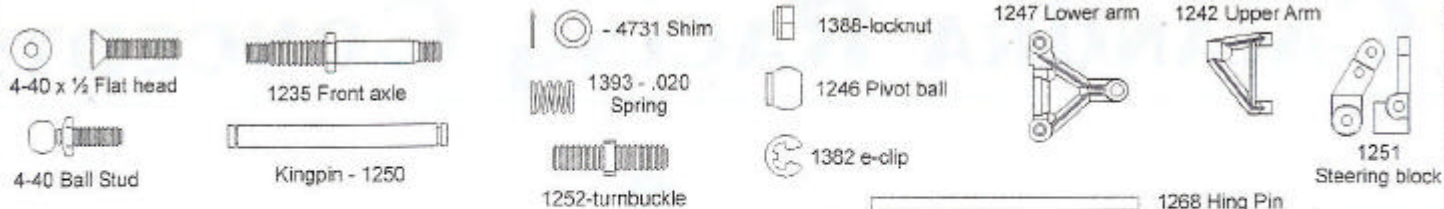
写真はT-FOURCEの  
メインシャーシです

メインシャーシ上のバッテリーセルが固定される部分はヤスリで削らないでください。バッテリーと接触する部分の角を落とす程度で十分です。



\*カーボンの削りカスを吸い込まないように注意してください。削りカスが目に入った場合は多量の水で洗い流し医師の診察を受けてください





1. 1247 フロントロアアームと  
1251 STブロックが干渉する部分を  
図1のように加工します。

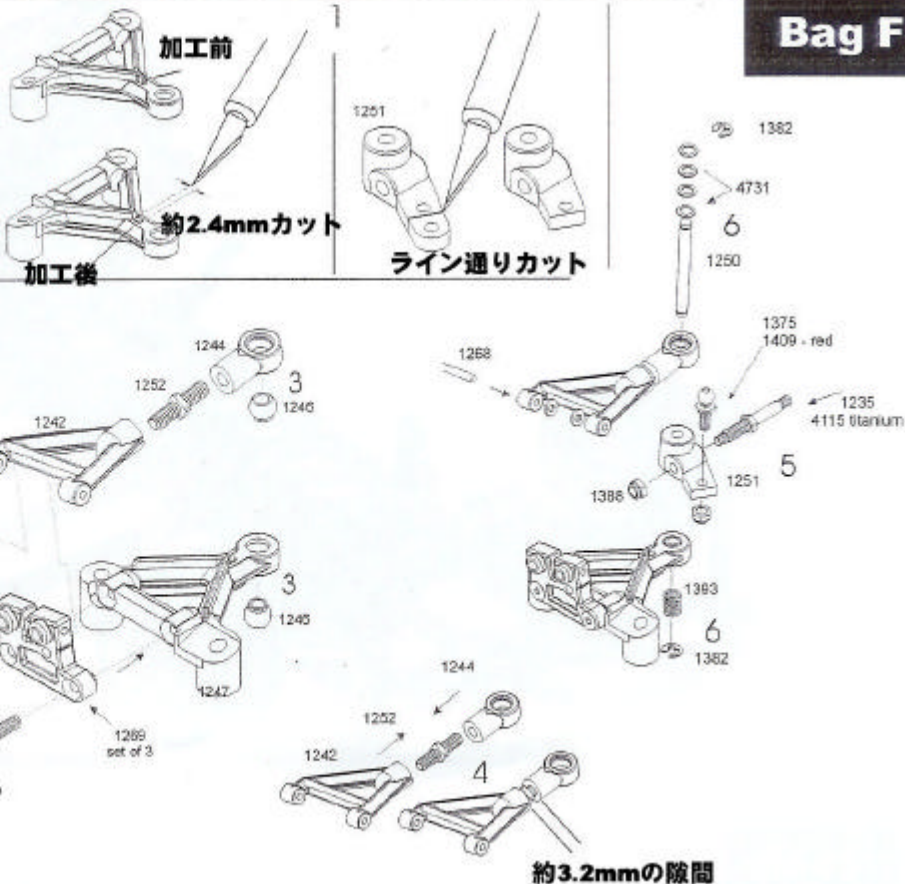
2. 図2のようにロアアームに1269  
キャスターブロック (10度) を  
取り付けますネジはバックFに入っています

3. 1246 ピボットボールを1244 アイレット  
に入れます。1244アイレットは穴の大きい  
方を上にします。1246はツバのあるほうを  
下にして取り付けます。(図では1244下から  
1246を入れるように見えますが実際には  
1244の上つまり大きい穴から入れます)  
次に1246を1247 ロアアームに入れます。  
1246のツバは上向き、図のようにロアアーム  
下から入れます。

4. 図4のようにフロントアッパーアームを  
組み立てます。隙間はおよそ3.2mmにして  
おきます。

5. 図5の要領で1251 STブロックを  
組み立てます。フロントアクスルのネジ  
は逆ネジになっています。注意しましょう

6. 図6の要領でキングピンを組み立て  
ます。キングピンシムは上側に4枚、1251  
STブロックの上に2枚用いるのが良いでしょう



## Bag F

8-32 FH Screw

#8 Alum Washer

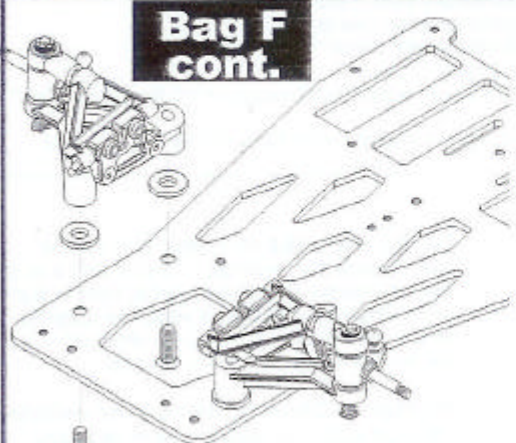
2-56 Button Head

4019 Pivot Ball

1274 - Plastic pivots

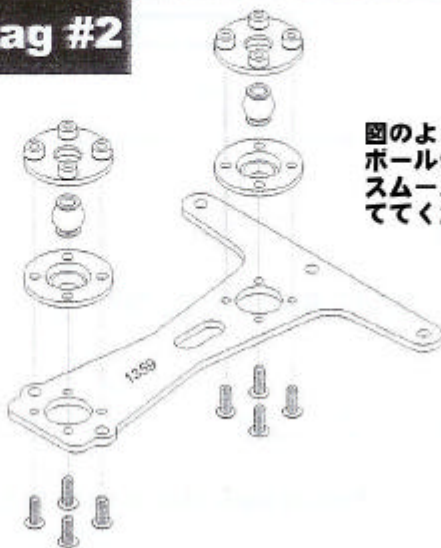
4-40 tweak screw  
optional

## Bag F cont.



組み立てたフロントサスペンションをメイン  
シャーシに固定します。車高を下げる場合  
は図のようにワッシャーを入れます。  
(ホイールベースは2種類設定可能)

## Bag #2



図のようにTバーを組み立てます。  
ボールシート内のボールはガタなく、  
スムーズに動くよう注意して組み立  
てください

## Bag 1, 2 + R

4-40 x 3/8 Flat Head

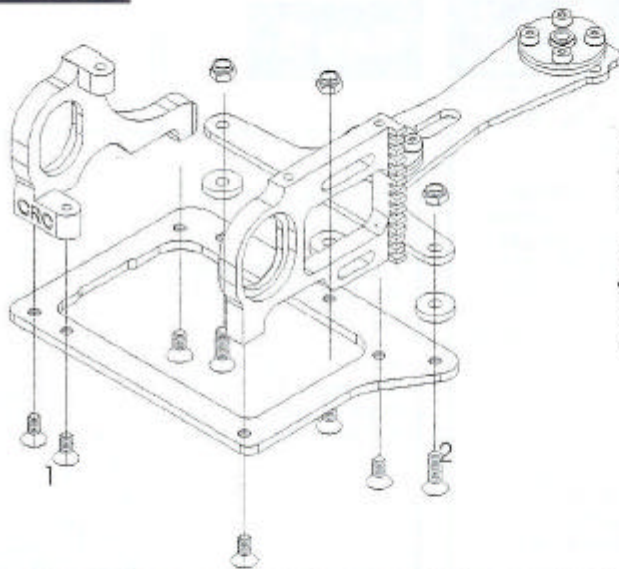
4-40 x 1/4 Flat Head

4-40 Alum locknut

13591 - Plastic spacer

Left bulkhead

Motor Plate



1. 13361 ロアプレートにバルクヘッドとモータープレートを4-40 x 1/4皿ネジで固定します。

2. Tバーと13361 ロアプレートとTバーを4-40 x 3/8皿ビスで固定します。ロアプレートとTバーの間には13591 プラスチックスペーサをいれます。

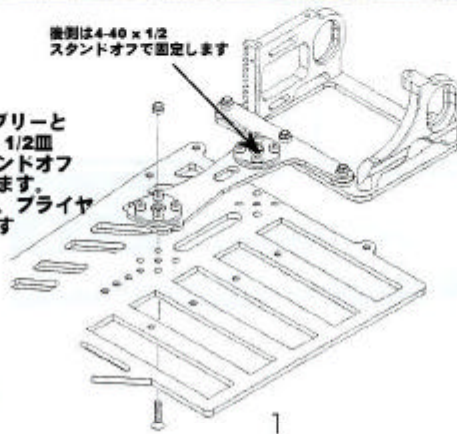
## Bag 1,2

4-40 x 1/2 Flat head

4-40 x 1/2 Standoff

完成したTバーアッセンブリーとメインシャーシを4-40 x 1/2皿ビスで固定します。スタンドオフをナット代わりに使用します。布でスタンドオフを包み、プライヤーで押さえつけて作業します

※別は4-40 x 1/2  
スタンドオフで固定します



## Bag 3

13763  
1/8th set screw

4-40 Alum  
Ball Stud

13781 Body Post w/washer

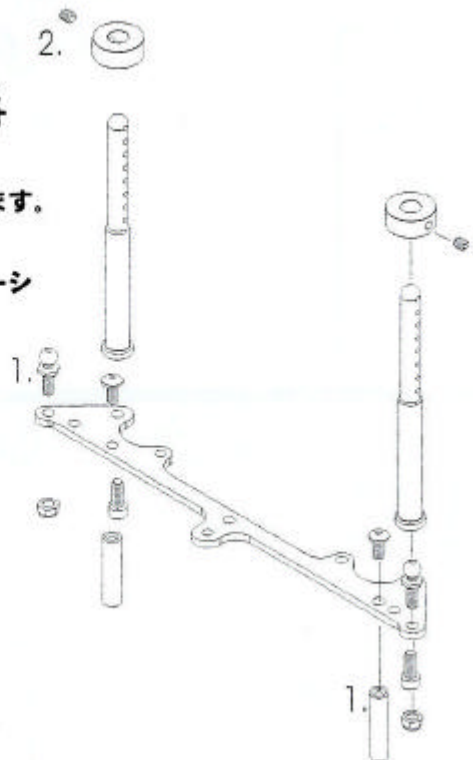
Standoff 4-40 x 3/4

4-40 x 1/4 Button Head

1. 図1のように4-40ボールスタッドを1163 クロスブレースに取り付けます。次にスタンドオフとボディーポストを固定します

2. 図2のようにボディーポストのカラーをイモネジで固定します。使用するボディーに合わせてカラーを上下させ、固定します。

3. ここで組み立てたアッセンブリーは後の工程でメインシャーシに固定されます



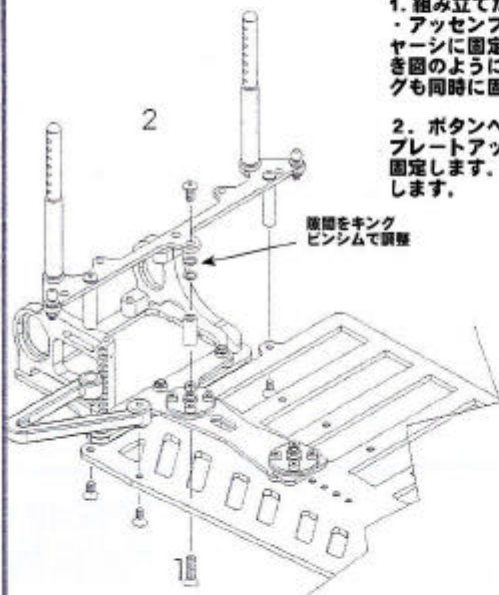


### Bag 3 cont.

4-40 x 1/4" Flat head  
4-40 x 1/4" Button head

1. 組み立てたクロスプレート・アッセンブリーをメインシャフトに固定します。このとき図のようにナーフ・ウィングも同時に固定します。

2. ボタンヘッドネジでクロスプレートアッセンブリーを上から固定します。隙間はシムで調整します。

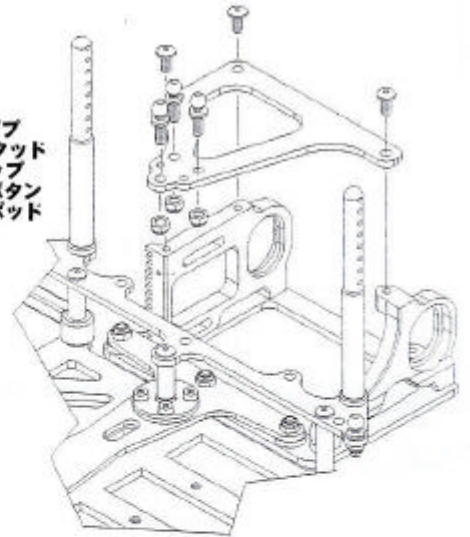


隙間をキングピンシムで調整

### Bag 5

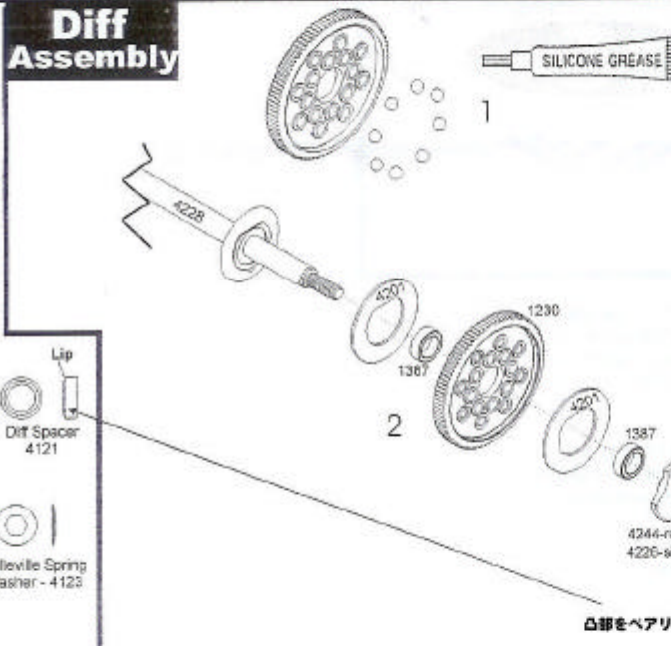
4-40 x 1/4" Button head  
4-40 Mini Locknut  
4-40 Alum Ball Stud

図のように1165 トッププレートに4-40ボールスタッドを3つ固定します。トッププレートは4-40 x 1/4ボタンヘッドネジでモータ・ボットに固定します



### Diff Assembly

Right Diff Hub  
Nylon Diff nut 4126  
1386 Flanged Bearing  
1387 Plain Bearing  
Large "D" Diff Ring 4201  
Belleville Spring Washer - 4123



SILICONE GREASE

### Bag D, G + B

1. スパーギアの外側8個の穴にデフボールを入れます。それぞれのボールには極少量のシリコングリースを塗ります

2. 図2のように4226 アクスルに各パーツを組み付けます

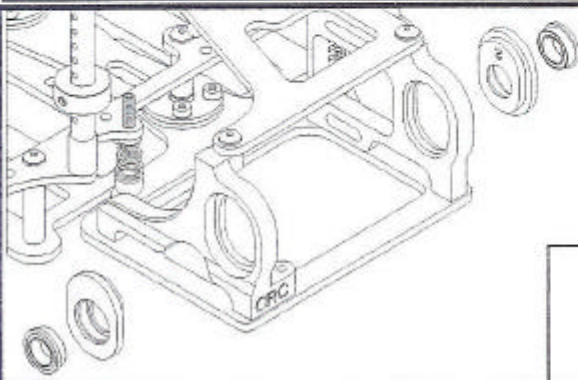
3. 4121 デフスペーサは小さな凸部がベアリング側になるように組み立てます。4123 ベルビルワッシャーは尖った方をナット側に組み立てます

凸部をベアリング側に

尖った方をナット側に

### Bag R, B Assembly

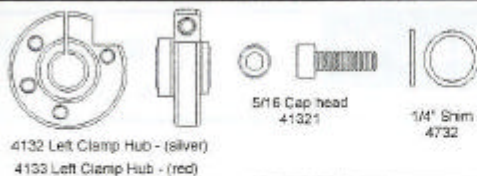
#2のライトハイト・アジャスターを図の向きで使用します。フランジベアリングを入れて、最後に4226 アクスルを入れます。



1386 Flanged Bearing x 2

1385 Plastic ride height adjusters x 2

## Bag H



銀色のビス

クランプハブを固定します。このとき紙2枚分の隙間がアクスルのスラスト方向にあることを確認してください

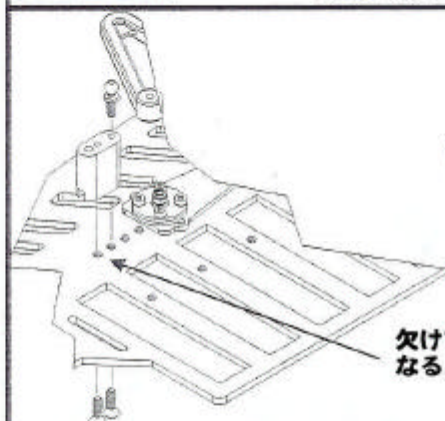
凸が薄い

凸が厚い

車体側 ←



## Bag S



Plastic Shock/Antenna mount

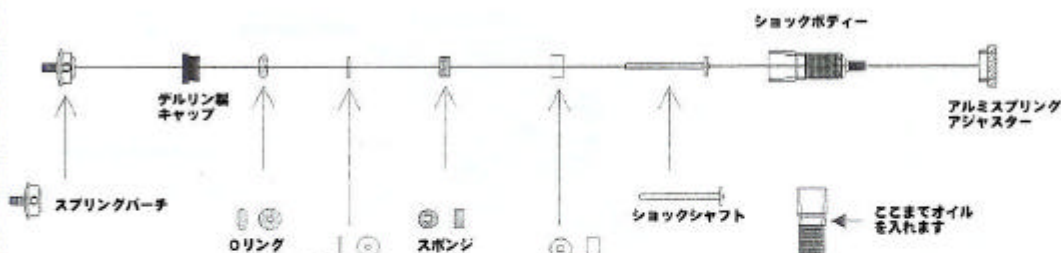
欠けている方が前方になるように固定します

アンテナ・ダンパーマウントを4-40 x 1/4皿ビスでメインシャーシに固定します。4-40ボールスタッドは上面の後側の穴に固定します。パイプアンテナは上面の前側の穴に入れます（アンテナが入れにくいときは3.2mmのドリル刃で穴を広げます）

# CRC Dura-Shock Assembly Instructions

Bag 4

1. #25番のショックオイルを準備します。まずはオイルをスポンジに染みこませてください。同様にOリングにもオイルを塗布します。
2. 図のショックシャフトを含めた左側のパーツを組み立てます。
3. ショックシャフトにオイルを入れます（図の位置まで、入れすぎ注意）。2. で組み立てたシャフトをゆっくりとショックボディーに入れます。
4. シャフトをゆっくりと最後まで押し込みます。次にデルリン製キャップをショックボディーにゆっくりとねじ込みます。
5. キャップをねじ込むと余分なオイルがにじみ出ます。オイル量が多いと最後までキャップが締まりません。この場合は余分なオイルを除去してください。
6. シャフトを押した（下げた）ままキャップを最後まで締め込みます。
7. 正しく組み立てたときオイルがにじみ出ることはありません。押し込んだシャフトは自動的に3mmほど戻ります。
8. オイルが多いとき、キャップ周辺からオイルがにじみ出ます。余分なオイルを除去してください。



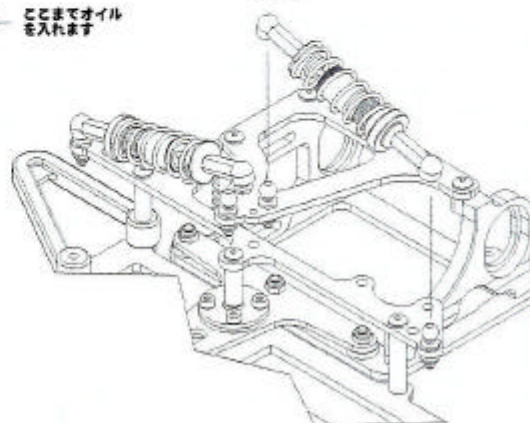
オイルダンパーは合計3つ組み立てます。そのうち2つは図のようにアッパープレートに固定します

ここまでオイルを入れます

使わないパーツ

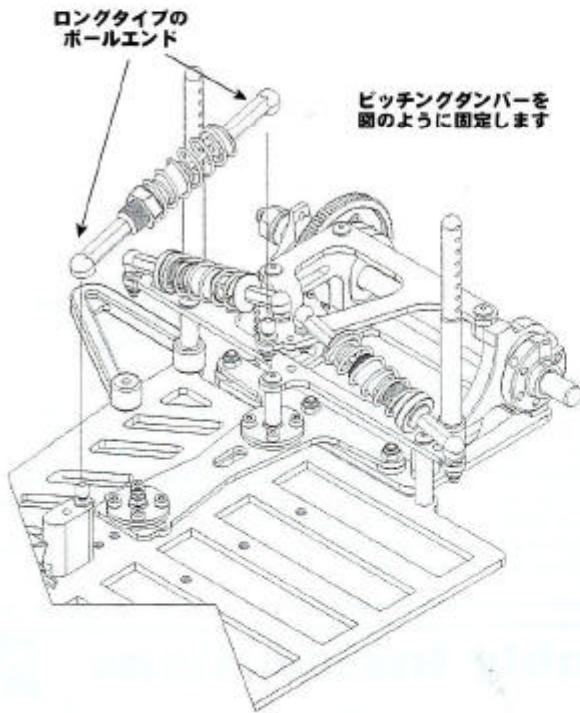
小さいプラスチックチェックワッシャー

プラスチックキャップ（中にスポンジが入ります）





# Bag S cont.



ロングタイプの  
ボールエンド

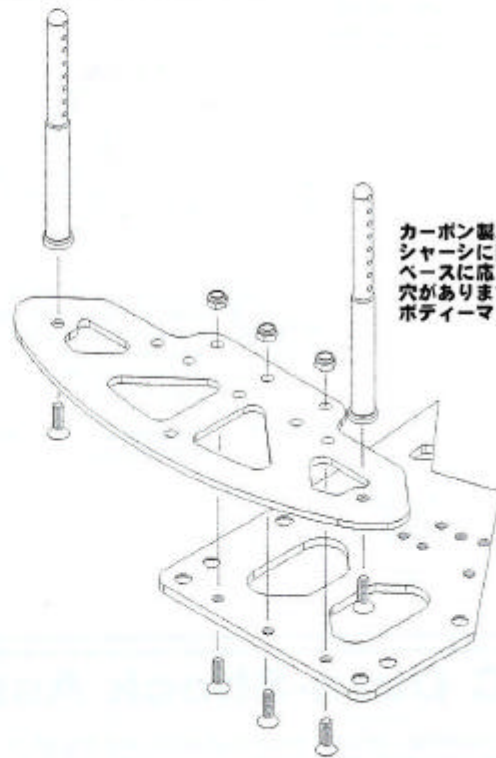
ピッチングダンパーを  
図のように固定します

# Bag 10

4-40 x 3/8  
Flat head

4-40 x 1/4"  
Flat head

4-40 Alum  
locknut



カーボン製バンパーをメイン  
シャーシに固定します。ホイール  
ベースに定して2カ所の取り付け  
穴があります。次にフロント  
ボディーマウントを取り付けます

# Bag F cont.



12412 - Square Nuts



1241 - Universal Servo Mnts.



4-40 x 3/8"  
Flat head



4-40 x 3/8"  
Cap Socket



#4 Washer



*Optional* Kimbrough Servo Saver  
113 - Airtronics, JR, KO  
114 - Futaba  
131 - Hitec



1231 - Plastic Ball Cups



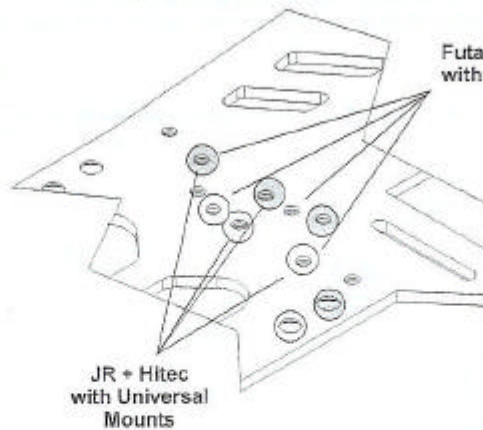
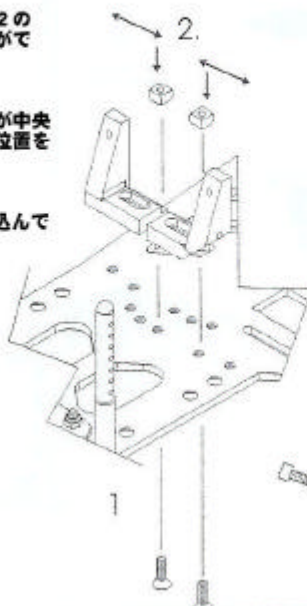
Steering Tie Rod

1. ユニバーサルサーボマウントを  
図のように固定します。ユニバ  
ーサルサーボマウントを用いる  
と様々なサイズのサーボを固定  
することができます。

2. 銀色の四角いナットは図2の  
ように左右に移動させることが  
できます

3. 搭載するサーボの出力軸が中央  
になるようサーボマウントの位置を  
左右に調整します

4. 4-40 x 3/8皿ビスを締め込んで  
サーボマウントを固定します



Futaba, KO, Air, Sanwa  
with Universal Mounts

JR + Hitec  
with Universal  
Mounts

○ = Long (standard) position  
● = Short (for extended pod) position

5.

タイロッドを2つ組み立てます。  
隙間はおおよそ29mmになります。



約29mm

5

**Bag 9** 1/8 Set Screw 4-40 x 3/8

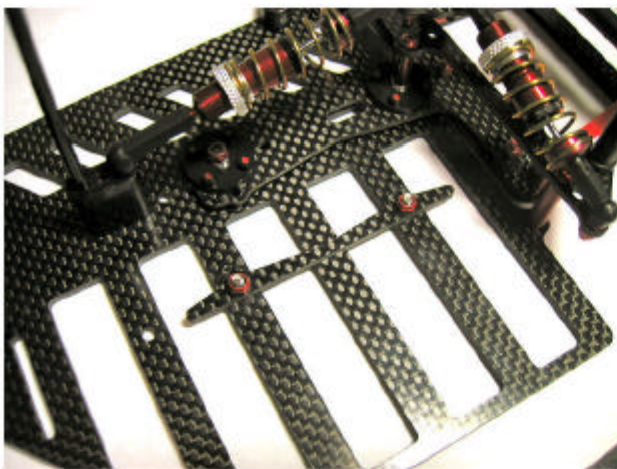
ポディーポストにカラーを装着します。使用するポディーに応じてカラーの高さを調整します。

**Bag B,F** 4-40 x 5/16 Cap Socket 4-40 Alum locknut 4731 1/8 shim 1249 - 1/8 x 5/16 bearing

\*ホイールとタイヤは別売りです

キットには1249 フランジ無しベアリングが付属します。お好みのホイールをお使いください。ガタがある場合はシムによる調整が必要です。

リアホイールは左右とも下回のように3本のキャップヘッドビスで固定します



キットにはバッテリーブレースが付属しています。これを用いると2種類のバッテリーポジションが選択できるようになります。

# CALANDRA RACING CONCEPTS, INC

本書はkimihiko.yano.netの著作物です。許可無く再配布・コピーすることを禁止します